

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Aコート 第1試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタートル)

チームA				チームB
昌平	103	$\left. \begin{matrix} 24 & - & 21 \\ 21 & - & 11 \\ 30 & - & 7 \\ 28 & - & 10 \end{matrix} \right\}$	49	東大寺学園
埼玉				奈良

昌平

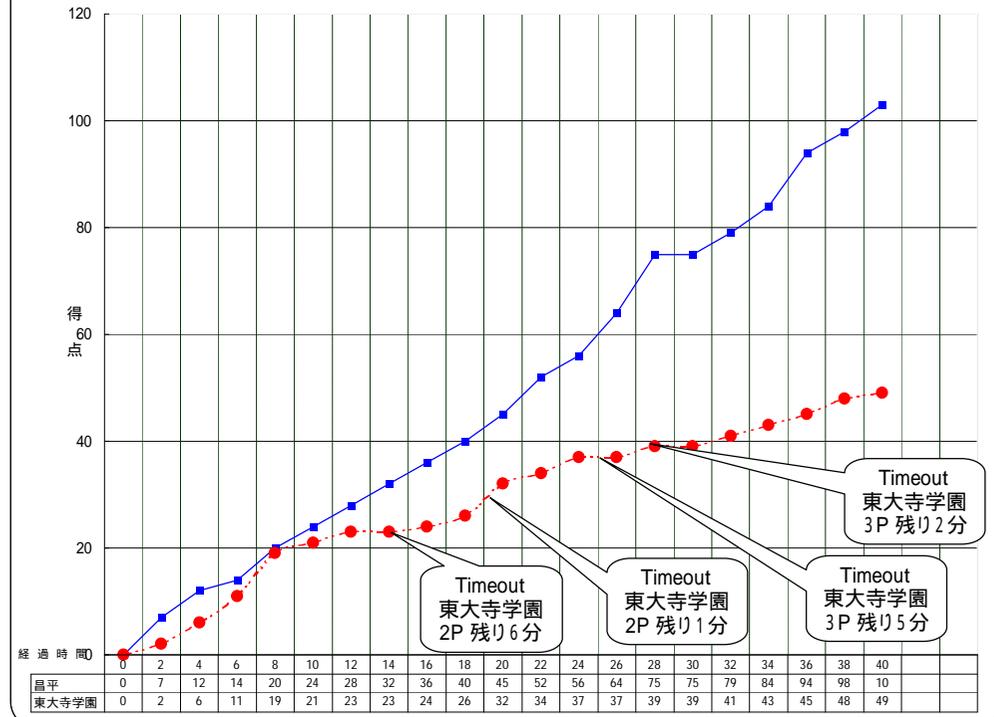
番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	馬場 健司	X	28	0	0	12	15	4	4	3	6	5	1	2	2	1	33
5	中居 秀貴	X	24	5	16	4	6	1	1	2	0	1	3	0	1	0	29
6	谷口 直紀	X	2	0	0	1	3	0	0	1	0	3	0	1	0	0	10
7	牧野 駿平	/	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	5
8	金井 研人	/	2	0	0	1	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
9	田中 優二	/	4	0	0	2	2	0	0	0	1	1	2	1	5	0	22
10	吉岡 悟	/	8	0	1	3	4	2	2	2	2	2	1	1	1	0	15
11	中村 恒貴	X	11	1	3	3	5	2	2	2	2	2	2	6	6	0	29
12	西谷 奨斗	X	7	1	6	2	5	0	0	2	1	4	3	6	3	0	33
13	大竹 正道	/	14	0	0	7	8	0	1	4	3	1	2	0	0	0	14
14	柏木 淳	/	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
15	八木 健吾	/	3	0	0	1	4	1	2	0	3	2	0	0	0	0	3
コーチ	畔川 秀雄									0	5	4					
出場: ×は先発、/は出場			103	7	28	36	56	10	12	18	23	27	15	17	19	1	200
確率				25.0%		64.3%		83.3%			計	50					

東大寺学園

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	金本 岳	/	2	0	0	1	2	0	0	1	0	0	3	1	1	0	18
5	古川 誠也	X	10	0	0	5	8	0	2	5	2	5	5	4	3	2	37
6	柏木 秀基	X	14	2	10	2	6	4	4	2	0	0	5	2	2	0	40
7	坂尻 時央	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8	吉川 大貴	/	3	0	0	1	4	1	2	2	0	0	3	0	0	0	18
9	三上 真司	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
10	井口 智広	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	渡辺 麟太郎	/	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12	武本 尚大	/	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	6
13	森田 浩之	X	4	1	1	0	3	1	2	0	0	1	3	0	0	0	24
14	小杉 陵太	X	11	0	2	4	9	3	3	5	2	5	3	2	5	0	33
15	井阪 亮太	X	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	19
コーチ	鍋島 俊哉									0	0	5					
出場: ×は先発、/は出場			49	4	15	14	33	9	13	15	5	17	28	10	11	2	200
確率				26.7%		42.4%		69.2%			計	22					

2分毎による得点の推移

昌平 東大寺学園



戦評

得意のパスングゲームから速い展開で上位をねらう地元の昌平と全員が中高一貫の進学校であり、クレバーなプレイが持ち味の初出場、東大寺学園の対決。
第1P昌平はマンツーマン、東大寺学園は1-2-2から3-2のマッチアップゾーンでスタート、昌平は#5中居の3Pシュートと1対1、#4馬場のリバウンドシュートなどでリード。対する東大寺学園も、#13森田、#5古川、#6柏木の4本の3Pシュートについていく。
第2P昌平はオールコートマンツーマンでプレッシャーを強め、#9田中、#12西谷がスティールから速攻でリズムに乗る。東大寺学園は、#5古川がリバウンドをがんばるも、昌平の硬い守りをくずれず、ターンオーバーが続き点数が伸びず、45-32で前半終了。
第3P昌平は#4馬場のインサイドと#5中居の4本の3Pシュートと、内・外をバランスよく攻め得点をかさねる。対する東大寺学園は、ターンオーバーが多く75-39と点差が開く。
第4Pなんとか追い付きたい東大寺学園は#6柏木が積極的に3Pシュートを打つが得点に結びつかない。昌平はさらにディフェンスを1-2-2ゾーンプレスに変えて、相手のターンオーバーやスティールから速攻で点を重ねる。最後は全員が試合に出る余裕の試合運びで昌平の完勝。

主審 有澤 重行

副審 紀伊 孝哉

戦評 高橋 努 (埼玉県高体連)

